

報道関係各位

2019年1月31日

公益財団法人 国際高等研究所

国際高等研究所、地球環境問題の解決に向けて

第10回KYOTO地球環境殿堂入り者との共同メッセージ発表のお知らせ

公益財団法人国際高等研究所（京都府木津川市、理事長 森 詳介、所長 松本 紘）は、新たな取組みとして、第10回KYOTO地球環境殿堂入り者の方々とともに地球環境問題解決に向けての共同メッセージを2019年2月9日に発表します。当日は茶室にて殿堂入り者へ呈茶の後、共同メッセージの確認と署名を行います。このメッセージは会場で配布させていただきます。是非ともご取材いただきます様お願い致します。

■概要■

日時：平成31年2月9日（土曜日）午前9時45分～10時45分

会場：国立京都国際会館茶室「宝松庵」（京都市左京区宝ヶ池）※別紙「会場案内図」をご参照ください。

[内容] 第10回KYOTO地球環境殿堂入り者3名と国際高等研究所が地球環境問題の解決に向けて、共同メッセージを発表する。

[出席者] 殿堂入り者：クリスティアナ・フィグレス 氏、山折 哲雄 氏、エゴ・レモス 氏

国際高等研究所：所長 松本 紘、副所長 佐和 隆光

[スケジュール] （撮影可。詳細は当日会場でご確認ください。）

9:45～10:25 茶室にて呈茶

10:25～10:45 立礼席へ移動し、共同メッセージの確認と署名、記念撮影、質疑応答

10:45 終了

公益財団法人国際高等研究所は「人類の未来と幸福のために何を研究すべきかを研究する」という基本理念に基づいた研究所として1984年にけいはんな学研都市に創設されました。21世紀の世界における課題について集中的に議論を重ね、とくに深刻な課題について研究を進めています。2015年度から実施した「人類生存の持続可能性～2100年価値軸の創造～」研究会では、有限資源の地球のもと進歩発展という概念を越え人類が持続可能な社会を再構築する方策について検討し、その成果を踏まえ2018年度からは「第4次産業革命への適応」をテーマに研究を継続しています。弊所は学術研究機関として課題を検証してその解決策に繋がる提言をすることが使命と考えており、学術研究や社会のあり方を国、組織、分野を越えてともに議論し、次世代を担う若者が希望を持てる未来社会の創出にむけて取組むことを目指しています。こういった取り組みから、この度、国際高等研究所は創設から運営協議会に参画する「KYOTO地球環境殿堂」の殿堂入り者とともに、地球環境問題の解決に向けて共同メッセージを発表する運びとなりました。